

## <人生探訪>

# シルバー在職5年間の想いと今後の活動

荃崎地区 村野四郎



2014年夏、会社員を退職、約1年半は旅行、登山、スポーツジム通い、実家のサポートなどをしていましたが、社会との疎外感是否めず、仕事を通して社会との繋がりが必要であるとの思いから、2016年6月よりシルバー人材センターの会員となりました。

2016年の西武デパートの物流関連の仕事を皮切りに、現在はつくば市駐輪場管理事務室に勤務しています。

それとは別に、近くの小学校でボランティア活動を行っています。

この活動は、近所の長谷川郁夫会員が既に取り組んでおり、長谷川さんを補助する形で始めました。私の住まいは、約40年前、団塊の世代が大挙して東京周辺から押し寄せて来た大型団地で、近くに荃崎第三小学校があります。現役のころはPTAによる小学校のグラウンド整備等にもあまり参加できませんでした。最近では時間的な余裕があるとき、校庭の草刈り、剪定など、小学校の環境整備のボランティア活動を行っています。作業中、教室から流れてくる子どもたちの歌声、屈託のない笑い声、元気な声などに癒され、元気を貰ってしまいます。かつては子どもたちが、今では孫たちが通学していることも活動の動機付けになっています。

人生100年といわれる超高齢化時代を迎え、健康長寿が話題になっております。退職後の1年半は社会との関わりがほとんどなくなり、自己の存在感と100歳までどう生きるかを自問自答したものです。シルバー人材センターに在籍してからは、就業を通して、社会、会員との繋がりを感じながら業務に励んでいます。より良き仕事を提供するためには、心身の健康、すなわち、適切な運動量と栄養で健康体を保持し、地



域社会との繋がりを持ってモチベーションを維持していくことが肝要であることに気付きました。これからも、健康に留意してシルバー人材センターの活動に取り組んでいきたいと思えます。

にぎやかな子どもたちの声に元気をもらっています。